

講義・演習概要（シラバス）

第1部課程第121期（平成25年10月24日～平成26年3月18日）

課 目 名	行政経営の理論と実践
時 限 数	4 時限
担 当 講 師	一橋大学大学院法学研究科教授 辻 琢也 ＜プロフィール＞ 1962年北海道函館市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科（相関社会科学専攻）博士号取得。専攻は行政学・地方自治論。東京大学助手、政策研究大学院大学助教授等を経て、2005年より現在に至る。1996－1997年には米国ジョンス・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院ライシャワーセンター客員研究員を兼任。内閣府「第30次地方制度調査会」委員、総務省「地方財政審議会」専門委員、国土交通省「社会資本整備審議会」委員、国土交通省「国土審議会」特別委員、東京都「東京の自治のあり方研究会」座長、千葉県「行政改革推進委員会」委員長、横浜市「大都市自治制度研究会」座長、川崎市「行財政改革委員会」委員長等を務める。
ね ら い	新しい「行政経営」（New Public Management）の基本的な考え方と、日本における具体的な取り組みを、批判的に検討する。
講 義 概 要	New Public Management について、マックス・ウェーバー以来の官僚制理論と対比しながら理解し、その特徴が①市場原理の活用と、②民間的な経営手法の導入にあることを明らかにする。さらに、NPM先進国である英国と米国の事例を紹介し、その後、D. Osborne “Reinventing Government” の整理に従って、日本における展開事例について批判的に検討する。なかでも、争点となるのは、民間委託と行政評価のあり方である。
受講上の注意	居眠りしないで受講すること。
使 用 教 材	講義レジュメと関連資料。
効 果 測 定	なし。
そ の 他 (他の課目との関連)	平易な内容なので、受講に際して前提となる講義・知識はない。